

製本のススメ

Vol. 124

毎年夏が長くなっているような気がします。日差しも強く、草花もぐったりです。せめて夜くらい過ごしやすくと良いのですがねえ。。。エアコンもフル稼働で今月は電気代が不安です。

今回は**トンボ**の話し

以前にも書きましたが、印刷と製本の間には共通のルールがあります。その一つがトンボです(昆虫ではありません) **トンボは、印刷側から製本側への加工指示**のために付けられています。センタートンボ・仕上がリトンボ・ミシントンボなど「この位置で断裁してください」・「ここにミシンを入れてください」等の印ですね。また印刷中にも位置合わせ等のために持ちいれられるトンボもあり、つまりは**設計図**ですね。

製本工程ではエンドユーザーの顔が見えませんが、どんな本にしたいのか どんな大きさに切りたいのかわかりません。そこで活躍するのがトンボです。

印刷中の針飛びも、トンボがあれば一目でわかります。最近はこのトンボの付かない印刷物が多くなりました。コスト面の事情もあると思いますので、絶対にトンボをつけてくださいとは言えないのですが、その際には**前回見本や 位置のわかる刷り本をぜひとも添付してください**。

印刷によっては「あえてトンボを入れない」物もあります。デザイン的な都合や、製本の都合であったりするのですが、その場合には**原稿に位置の指示を付けてください**。

製本加工では ある程度の基準を持っています。頁物では主にセンターと本文中のノンブル位置を基準で、仕上げバランスを決める事があり、トンボが無くてもそれなりの冊子になるわけですが、あくまでもお客様の受注品ですので勝手に位置決めはできません。



Tea break

夏休みです、自由研究のタネに博物館などへ出かけられる方も多いのでは？さて、重要文化財は文化財保護法に指定された建物や工芸品・古文書などの事ですが、その中でも特に学術的な価値の高いものや美術的に優秀な物が国宝に選ばれます。人間国宝って呼ばれる方もいますね。文化財に指定されると公開の義務が発生し、当然売買は禁止です。相続などで所有者が変わるときには国の許可も必要です。しかし、保護に必要な経費は補助金ができるようで、国を挙げて文化財の保護に取り組んでいます。

弊社ホームページはこちら www.isekiseihon.com

by (株) 井関製本